

報道関係者各位

2026 年 9 月 24 日

パラスポーツを通じて子どもたちの障がい理解と共生社会の実現へ

今年度も城東小学校でデフスポーツ体験会を実施

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役社長／塙 圭二、以下「当社」）のケイアイチャレンジドアスリートチームは、2026 年 9 月 9 日に東京都中央区立城東小学校（以下「城東小学校」）にて、4 年生 2 クラス計 52 名の児童を対象とした「デフスポーツ体験会」を実施いたしました。本取り組みは、昨年度に引き続き、同校 4 年生の総合的な学習の時間（福祉について）の教育プログラムの一環として連携し形にしたものです。



クイズ形式でデフスポーツを学ぶ城東小学校の児童たちとケイアイチャレンジドアスリートチームのメンバー

本体験会には、昨年の「東京 2025 デフリンピック」の女子サッカーで準優勝した当社所属のケイアイチャレンジドアスリートチームより、川畑 菜奈（かわばた なな）選手、岩淵 亜依（いわぶち あい）選手、中井 香那（なかい かな）選手、山本 典城（やまもと よしき）監督が講師として参加し、児童たちがデフスポーツや聴覚障がいへの理解を深め、共生社会への関心を広げることを目的に実施されました。

体験会・講演の様子



児童たちは本体験会に先立ち、各クラスで約 1 時間、デフサッカーやデフリンピックについて事前学習を行った上で参加しました。参加児童におけるデフリンピックの認知度が約 8 割にのぼるなど、高い関心を持って当日を迎えました。講演では、アスリート・監督の自己紹介をはじめ、デフリンピックの歴史や聴覚障がいに関するクイズを実施。事前学習で得た知識を確かめながら、クイズの回答に一喜一憂して盛り上がり、楽しみながら学びを深めました。実技体験では、視覚情報に素早く反応してプレイする「色ドリブル」や、フットサルのミニゲームを実施し、児童たちは選手たちから習った手話をさっそく実践し、コート上で積極的にコミュニケーションを取りながらデフスポーツを全身で楽しんでいました。また、ミニゲームの合間には、デフリンピックで獲得した銀メダルや代表ユニフォームを披露。実際に手に取って触れた児童たちからは「思ったより重い！大きい！」といった驚きと喜びの声が上がり、トップアスリートの功績を肌で感じる貴重な機会となりました。



■ 中井 香那 選手コメント

城東小学校の 4 年生を対象に、デフスポーツ体験会を実施しました。

当日は、デフリンピックや聴覚障がい、生活の工夫についてお話しし、手話やジェスチャー、アイコンタクトなど「声以外の伝達方法」を体験してもらいました。体験では、ジェスチャーゲームや色の手話を使ったドリブルリレーを実施。最後の「声出し禁止」のゲームでは、アイコンタクトをとったり肩を叩いて「こっち！」と合図を送ったりと、子どもたち自身が「どうすれば伝わるか」を考えて工夫する姿が見られました。

子どもたちからは「アイコンタクトがないとパスができず難しかった」という感想もあり、方法が変わることで生じる難しさを実感してもらえたと感じています。今回の体験が、相手に応じた伝え方を工夫するきっかけになれば嬉しいです。今後もスポーツや体験を通して、デフや聴覚障がいへの理解とコミュニケーションの大切さを伝えていきたいと思います。

今後の取り組み

当社は、今後も「ケイアイチャレンジドアスリートチーム」を中心に、教育機関や自治体と連携したデフスポーツ・パラスポーツの体験授業や講演活動を積極的に推進してまいります。

■ ケイアイチャレンジドアスリートチームとは



「日本一挑戦するアスリートチーム」を理念として、障がい乗り越えるだけでなく、さらなる高みを目指してチャレンジを続けるパラアスリート集団として、2019年4月に「ケイアイチャレンジドアスリートチーム」を発足しました。

現在は、6名が所属しており「デフフット

サル」、「デフサッカー」、「ろう者柔道」の各競技で活躍しています。トップアスリートとして高いレベルのトレーニングと競技を続けながら、社内研修の講師や商品開発に携わるほか、イベントや体験会を通してパラスポーツ認知向上のための啓もう活動を積極的に行っています。

これまで、埼玉県本庄市を中心に県内外の企業や自治体、教育機関などと連携した体験会やパラスポーツの冠大会を開催し、延べ 5,000 名以上の方々にパラスポーツを体験していただきました。

公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>

■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適な暮らしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を供給しています。

仕入から販売までを一気通貫で行う、「KEIAI プラットフォーム」と「コンパクト戸建住宅」という独自のビジネスモデルによって、分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開販売(※)しています。2026年3月期の売上高は 3,939 億円 (※グループ連結数。年間 9,489 棟(土地含む)を販売)。

【会社概要】

社 名 ケイアイスター不動産株式会社 (コード番号：3465 東証プライム市場)
代 表 代表取締役社長 塙 圭二

所在地 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1

資本金 4,828 百万円（2026.3.31 現在）

設 立 1990 年 11 月

従業員数 2,897 名（連結 /2026.3.31 現在）

U R L <https://ki-group.co.jp/>

事業内容 分譲住宅事業、アパート事業・収益不動産事業、中古住宅再生事業、海外事業、
その他事業（注文住宅事業、フランチャイズ事業、分譲マンション事業、ストック事業、リフォーム事業）

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL：03-5299-7575 FAX：03-5299-7562 E-mail：press@ki-group.co.jp